

記入例

第1号様式(第1条関係)

二級 建築士免許申請書 木造 ※免許登録手数料受付欄 (19,200円)

私は、【二級・木造】建築士の免許を受けたいので、戸籍謄本(抄本)及び後見登記等に関する法律第10条第1項に規定する登記事項証明書を添え、申請します。
 なお、下記記載事項が、真実で、かつ、正確であることを誓います。
 平成 30年 12月 14日

氏名 埼玉 太郎

埼玉県指定登録機関 一般社団法人 埼玉建築士会会長 殿

ふりがな 氏名	さいたま たろう 埼玉 太郎	性別	男・女 男	証明写真貼付欄 注意 1. 申請者本人のみ 2. 1ヶ月以内に撮影したもの 3. 正面、無帽、無背景 4. 縦4.5cm×横3.5cm ※写真の裏面に申請都道府県名と氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。 ※顔の大きさは灰色部分程度のものとして下さい。 ※貼付した写真はカードに転写されます。
生年月日	昭和 62年 7月 1日 生			
本籍	埼玉県さいたま市南区鹿手袋4-1-7			
現住所	〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7 埼玉建産連会館5F			
試験	二級建築士試験又は木造建築士試験に合格した時期	平成 30年		
	合格通知日付	平成 30年 12月 6日		
	合格番号	第 2D-12345A 号		
欠格事由	1 後見開始又は保佐開始の審判(禁治産又は準禁治産の宣告もこれに該当するとみなされます。)を受けていますか。	いる□	いない <input checked="" type="checkbox"/>	
	2 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	5 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	

※審査 □手数料確認 □写真照合 □戸籍照合 □登記照合 □合格者照合 □欠格審査 □名簿登録 □免許証明書発行

※登録番号 第 号	※登録年月日 平成 年 月 日	※受付番号 受付年月日	第 号 年 月 日
--------------	--------------------	----------------	--------------

注意事項 1 数字は、算用数字を用い、【二級・木造】及び性別欄は該当する方を○で囲んでください。
 2 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
 3 □のある欄は、該当する□の中に✓印をつけてください。
 4 ※の欄は、記入しないでください。
 5 外国の建築士の免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。
 6 この申請書を提出する際に、合格通知書を提示してください。

該当する項目に○

申請日を記入

合格通知書に記載されている通り記入
 ※埼玉県合格の方は、合格番号が2Dから始まります。他の番号から始まる方は、合格県をお確かめください。

該当箇所にチェック